



絵画の見方、とらえ方教室 ～石橋勝久先生をお招きして～

11月6日(木)「芸術の秋！絵画の見方・とらえ方教室」を開催し、先日絵画を寄贈していただいた石橋勝久氏を講師にお招きしてお話を伺いました。石橋氏は本校の卒業生で、碧南みどり市民にも登録されている先生です。みどり市民というのは、碧南市出身または在住で、全国的に活躍してみえる方のことです。寄贈いただいた絵画作品「みえないことについておもう」は、120号もの大作で、現在昇降口を入った正面に展示しています。この作品についての解説、先生の画風の変遷から芸術観、ポスターの描き方やポイントなど、多岐にわたってお話をいただくことができました。これからの東中生の美術作品や意欲に変化が出てくることを楽しみにしています。



「絵画の見方、とらえ方教室」を通して 米澤 もも (3-5)

私は、昇降口の絵が石橋先生の絵に替わったとき、とてもきれいな絵だなと思いました。私は山の絵かなと思い、すごく圧倒される感じでした。今日、何人かに感じ方を聞くとみんな違いました。先生の話の聞いたら、一人ひとりの思ったことはすべてが正解だと知り、絵(抽象画)って不思議だなと思いました。

また、東中生や他中生、高校生のポスターを見て、先生が「キャッチコピーから決めている」と言われていて、私はそうすれば絵の形が決めやすいな、絵の意味が伝えやすいなと思い、次からやってみようという気になりました。中学生としてポスター

を描く機会はないけど、高校生になったら必ず今日の話思い出して「キャッチコピー」から決めようと思います。

普通の絵から何かを読み取るのは難しいけど、先生のような画家の先生が描いた絵は、とても気持ちがこもっていて、私たちでも何かすごいものが伝わってくるような気がします。これから、授業で絵を描くときは、気持ちを込めてそして気持ちが伝えられる、そんな絵が描けたらいいです。

今日の話聞いて、これから絵を描くのが楽しくなりそうです。今日の話が聞けて本当によかったです。

市内の子どもたちの芸術が集う!! ～碧南市子ども造形展～

11月8日(土)、9日(日)の2日間にわたり子ども造形展がありました。本校の学年の作品のテーマは、1年「花と手からイメージして」、2年「BOXアート～箱の中に広がる世界～」、3年「空想画～シュルレアリストとモダンテクニックに学ぶ～」でした。どの作品も技巧をこらすだけでなく、心の内面を表現した素晴らしい作品でした。



寒風の中 全力でたすきをつないだ ～校内駅伝大会～

11月13日(木) 校内駅伝大会を行いました。急激に冷え込んだ朝。寒風吹く中で、寒さにもめげず、みんな全力で走り抜けました。この二学期、体育大会、合唱コンクールと学級の和を高めてきました。そして、この校内駅伝大会が学級対抗で競う最後のイベント。体育大会でつながった団の部の優勝もあるため、学級を越えた応援がここでも見られました。そんな中、補欠も含めてほとんどの生徒が最後まで力をふりしぼって走りぬくことができたと思います。

学級対抗の部では、1年5組、2年1組と5組、3年5組が優勝しました。個人記録では、男子は3年生が力を見せつけ、女子では1,2年生の台頭が目立ちました。



校内駅伝大会 主な記録

<団の部>

総合優勝 瑠羅紅 (3-4、2-5、1-5)

<学級の部>

1年	総合優勝	5組	2位	3組
	男子優勝	1組	2位	3組
	女子優勝	5組	2位	2組
2年	総合優勝	1組	5組	
	男子優勝	1組	2位	5組
	女子優勝	4組	2位	2組
3年	総合優勝	5組	2位	4組
	男子優勝	2組	2位	5組
	女子優勝	5組	2位	4組

<個人男子の部>

1年	1位	白井 大地	(06' 46")
	2位	平松 直也	(06' 51")
2年	1位	生田 輝	(06' 18")
	2位	山本 愁	(06' 34")
3年	1位	安藤 千力	(06' 02")
	2位	榊原 海	(06' 22")

<個人女子の部>

1年	1位	榊原 咲絵	(05' 16")
	2位	西川 真由	(05' 17")
2年	1位	村松 美紅	(05' 01")
	2位	片山 楓華	(05' 15")
3年	1位	杉浦由季乃	(05' 31")
	2位	藤田 清美	(05' 33")

学校評価・自由記述のご意見についてお答えします 2 ～回答及び取り組み～

▼自転車通学の許可エリアを広げてほしい。我が家の前の道向こうの生徒は、自転車通学可です。

▼今まで徒歩のみで大丈夫だったのに自転車通学は本当に必要でしょうか。

⇒ 自転車通学については賛否両論あります。しかし、毎日片道40分以上徒歩で通学するのはとても負担である、何とか自転車通学を認めてやれないかという意見が多数寄せられました。そこで、近隣の学校とのバランスの中で2kmを境として許可区域を決め、自転車通学を許可することに踏み切りました。必ずどこかに許可区域の境はできます。今回いただいた意見は当時も想定されましたが、どこを境にしても同様な意見は出てきます。そこで、学校側が許可区域を指定することについて保護者の同意を条件に自転車通学に踏み切りました。ご理解ください。